



## 立中最後の卒業生として

第69回卒業生 濱田 蓮華

立江中学校は、私達3年生が卒業すると同時に69年の歴史に幕をおろします。生徒数が少なくなり合併は仕方がないことですが、母校がなくなるということは、とても寂しく悲しい気持ちでいっぱいです。

希望と期待を胸に校門をくぐった入学式。芝田と櫛淵と立江の3校が一緒になるのでちょっと不安でした。しかし、様々な行事を行うことで絆を深めていくことができ、今では仲がよく楽しいクラスです。1年生の秋頃にあった飯ごう炊さん。初めて日の峰の山に登り、みんなでカレーを作りました。初めての体験で楽しかったのが今でも思い出します。一番楽しい行事といえば修学旅行。平和学習では戦争の悲惨さや残酷さを知り、当たり前の大切さや学習することの大切さなどを知りました。美ら海水族館では、大きなジンベエザメや魚をみんなで見たり写真を撮ったりしてとても楽しかったです。また、その時泊まったホテルがとてもきれいでみんなで盛り上がりました。夕ご飯はバイキングで、みんなで食べるのができたのでとてもおいしく楽しかったです。2年生の文化祭では、様々なことに挑戦しました。模擬店では、花キューピットという店を開きました。立江中学校として初めての試みで成功するか不安でしたが、成功して盛り上がったのでよかったです。芸達者自慢では、クラスの女子全員で出ることができたのと、生徒会として活動することができました。動画に出演したり、エレキテル連合の朱美ちゃんの役でコントをしたりした時はとても恥ずかしかったですが、今ではとても良い思い出です。3年生の最初にあった遠足ではU S Jにみんなで行きました。また、立中最後となる3年生の運動会や文化祭では、みんなで協力して盛り上げ、絆を深められたと思います。さらに、閉校記念事業として東京演劇集団「風」の皆様が公演に来てくださり、初めて演劇を見て感動しました。このようにたくさんの思い出を作ることができました。また、先輩方や先生方から教えてもらったことも良い思い出です。その教えてもらったことを活かし、生徒会活動や学校生活を送ることができたように思います。

私達が立江中学校最後の卒業生にふさわしいのか？と不安になりますが、「あいさつができる、そうじができる、時間を守る立中生」として有終の美を飾ります。立江中学校今までおつかれ様でした。先生方には、迷惑をかけたり指導もしていただいたりで感謝の気持ちでいっぱいです。

私達は、悲しくてさみしいですが立江中学校が閉校になっても、先輩達が築いてくれた伝統がある立江中学校で学べたことを誇りに頑張っていきたいです。

